

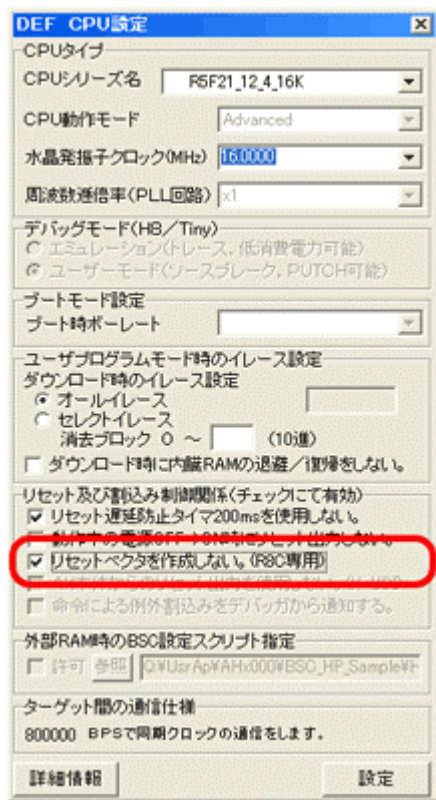
R8Cシリーズ（10～13）のリセットベクタを作成しない場合の説明

DEFバージョン 6.30A仕様より

【機能】

- ある一定期間のみ出荷されたCPUに限り、通常仕様ではデバッグモードならないロットがありました。そのタイプだった場合は、下記設定にてして下さい。
(リセットベクタ値が「0xFFFFFFFF」でないとエミュレーションモードに遷移しない)
ロット番号等の判別は出来ません。(2005年2月～9月頃に出荷されたCPUとの事です。)

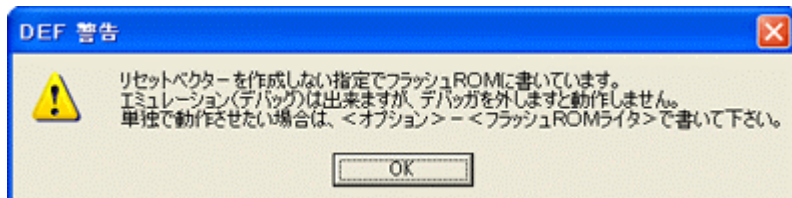
【設定方法】



CPU設定で品種指定

←この項目に「チェック」を入れる。
リセットベクタ値は、デバッグ中「0xFFFFFFFF」になります。

【ダウンロード毎のメッセージ】

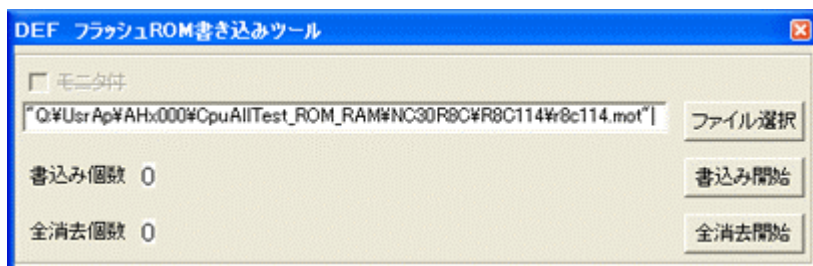


ダウンロード毎に警告メッセージを表示します。

【OK】をクリックして下さい。

【最終製品時の手順】

- リセットベクタ値が無い状態ですので、AH本体を外した状態では正常動作しません。デバッグが終了し、最終製品にする場合は、<オプション>-<フラッシュROMライター>で書いて下さい。CPU設定が上記のままでも、リセットベクタ値はプログラム通りに書きます。



プログラムファイルの選択後

【書き込み開始】をクリックして下さい。

【注意事項】

- このタイプの製品で、上記フラッシュROMライターで書いた製品を、再度AHに接続しますとFROMは**全消去**されます。

以上